

公益社団法人 地盤工学会
平成23年度 第1回技術普及委員会
議事録

日時	平成23年4月21日(木) 14:00～17:00					会場	地盤工学会地下会議室	
委員長	村田 芳信	○	幹事	原 忠	○	幹事	秦 樹一郎	○
委員	王 林	×	委員	伊藤 和也	○	委員	栃尾 健	○
委員	舟橋 景介	○	委員	北田 貴光	○	委員	今井 優輝	○
委員	水野 健太	○	委員	長屋 淳一	○	委員	渡邊 康司	○
委員	野末 康博	○	委員	山川 優樹	×	ワグザバー	山中 捻	○
ワグザバー	林 豪人	○	ワグザバー	辻村 崇	○	ワグザバー	後閑 勇	○
事務局	永田 満枝	○	事務局	廣松 さおり	○			
○:出席 ×:欠席 △:未定								

報告・確認事項

1. 議事録担当者 (資料-1)
舟橋委員が指名された。
2. 前回議事録の確認 (3/10) (資料-2)
前回議事録(伊藤委員担当)が承認された。
3. 事業部会 (3/7) 議事録案 (資料-3)
村田委員長より第3回事業部会の概要について報告があった。
・公益法人化による地盤工学会の組織改編により、出版企画委員会と技術普及委員会が別部門となる可能性がある。
・「地盤工学を築いた人々」の出版は次年度へ持ち越しとなる予定である。
4. 第5回理事会 (3/18) 議事録案 (資料-4)
村田委員長より第5回理事会の概要について報告があった。
5. 図書出版作業進捗状況 (別添資料-1)
事務局より以下の報告があった。
・実務シリーズ29『土の締固め』は出版予定が2011.06に変更。
・実務シリーズ31は書名を『山留め技術に関する創意・工夫』に、講習会開催予定を10～11月に変更。また、講習会はOD対象とはせず、本委員会(渡邊委員)が主体となって運営する。
・単独本『都市の地盤』は、東北地方太平洋沖地震の内容を追加するため、出版予定を2011.11に延期。
・新企画『地盤のはなし』と『子供向けの本』は内容が固まっていないため、次回出版企画委員会で再検討するが、取りやめとなる可能性もある。
・新刊本出版後に講習会を行う旨、執筆者に事前承諾を得る必要がある。
6. 平成22年度講習会収支報告 (資料-5)
『トラブルから何を学んだか』、『特殊土の基本性質』講習会の収支が報告された。
7. 平成22年度講習会アンケート集計結果 (資料-6)
各担当委員より、講習会の開催結果が報告された。
8. 3月15日講習会中止について
『施工・維持管理に配慮した基礎構造物の計画』が震災の影響により中止となり、受講料を全額返金した。
9. オンデマンド講習会広告「地盤工学会誌」への掲載について
5月号の表紙裏にオンデマンド講習会概要の広告を掲載する。

審議事項

1. 平成23年度講習会開催について

(資料-7)、(別添資料-2)

- ・7月8月は計画停電の懸念があるため、開催日が決定していない講習会は7月8月を避けて計画する。また、各担当者から講師へ開催予定月の確認を行い、全体工程を再構築する。
- ・『地盤・耐震工学入門講習会』は開催予定を9月以降に変更。
- ・『建設環境に関する技術-技術士受験のポイント-講習会』は、本年度は中止とする。
- ・『シールド工法講習会(仮題)』は新刊本が9月発刊予定のため、開催予定を11月に変更。
- ・『事業継続を可能とするための既存構造物周囲の地盤改良(補強)工法』は、支部開催であるため一覧から消去する。
- ・『軟弱地盤における地盤変形の実測と解析講習会』は中止とする。
- ・『特殊土(関東ローム, 有機質土, しらす, まさ土)の基本性質講習会』は開催予定を12月に変更。
- ・2007会長特別委員会報告書を用いる3講習会は中止とし、現在作成中の報告書完成後に再度検討する。

2. 講習会の形態について

(資料-8)

第6回委員会の審議事項であった“講習会の費用設定“は、村田委員長が素案を作成し、次回委員会で再審議を行う。

3. ワーキンググループの体制について(コース制, オンデマンド講習会)

- ・コース制は参加人数が少なく、機能しているとは言い難い。これは、運用ルールの整備不足が要因の一つであると考えられる。
- ・運用ルールの素案は出来ているため、それを内規へ格上げする作業が今後必要となる。
- ・上記作業のため、5月19日(木)13:00~14:00にコース制WGを開催する。参加者は今井委員, 水野委員, 舟橋委員と、各委員の後任。

次回委員会開催日 平成23年6月16日(木) 13:00~16:00 於:地盤工学会地階A会議室

以上